

# やまだんの 山田野

# 31

独立行政法人  
国立病院機構 北陸病院  
〒939-1893 富山県南砺市信末5963  
TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

## 新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。皆さまには健やかに新年をお迎えのこととところよりお慶び申し上げます。

北陸病院において今年は病棟立替の仕上げの年になり、1階に重症心身障害病棟、2階に神経難病病棟を有する西病棟が各々10床増えて完成します。その活用においては現場の皆さんが知恵を出し合うことで患者さん職員ともに優しい治療空間がうまれると思います。これで精神科3病棟を有する南病棟と医療観察法の6病棟あらため東病棟の三個病棟がそろい、精神・知的・身体の三障害を有する当院入院患者さんの治療およびリハビリをより充実させていくことが可能となります。そして職員一人一人が各々の持ち場で互いを思いやりながら工夫を重ね、その力をいかに発揮できてこそ病棟立替が真に有意義なものとなるでしょう。

さて、国全体としては、毎年のように医療や福祉などの改革が行われており、2025年度までの医療および介護の計画的な提供を策定していく『医療介護総合確保推進法』が動き出しており、当院の方向性にとっても重要で、今後国や県・市および地域の関係機関との連携をより強化していく必要があります。

また、国立病院機構としては、今春に非公務員型の中期目標管理型法人に移行します。当院は、昭和19年に陸軍の傷痍軍人療養所として誕生し、戦後厚生省に移管されて国立療養所となり、平成16年に現在の独立行政法人、

そして4回目の変身をとげる  
こととなります。

しかしながら、北陸病院の医療自体はこれまでと同様、①国の医療としての政策医療（医療観察法医療、重症心身障害医療ほか）、②県の医療としての精神科救急および認知症疾患医療センター、③南砺市や砺波医療圏の地域医療としての神経難病、認知症、一般精神そして過眠症や睡眠時無呼吸などの睡眠障害について、初期および急性期から最後の砦としての役割を果たすとともに、入院治療やりハビリから外来・在宅医療の支援まで総合的に安心をお届けしていくことを責務と考えています。

そして、その安心と信頼を生み出すものが基本理念である「生命と人権を尊重し、思いやりで満ちた医療を良心と誠意を持って実践する」という『恕』の心の病院を目指すことです。相手の身になっての挨拶、声を掛け合うこと、丁寧な言葉遣いなど、一期一会のもてなしの心があれば簡単なことですが、実はとても大切ではないかと思えます。これらを実践することで患者さんや家族、職員、地域のだれもが笑顔でいられる病院になれるよう日々研鑽を重ねていきます。

最後に、皆さまにとりまして幸多い年となりますように祈念しまして、年頭のごあいさつといたします。今年もあたたかいご支援とご助言をこころよりお願い申し上げます。

(院長 坂本 宏)



# 正月料理について



皆様はお正月をどのように過ごされたでしょうか？お正月に欠かせないものの一つに正月料理がありますが、ライフスタイルが多様化する中、お正月に食べる食事も多種多様になってきていると感じています。



現在では正月料理を総じて「御節（おせち）」と呼ぶ風習があるように思いますがその歴史は古く、一説には奈良時代頃に起源があるといわれています。五節句（1月7日、3月3日、5月5日、7月7日、9月9日のこと）に自然の恵みや収穫に感謝して神様に供えたものを「節供」といい、これを調理したものが「節供料理」と呼ばれ、現在もお正月に食べられる「御節」の起源になったそうです。

お正月にはできるだけ豪華な料理を食べたいという人も多く、洋食や中華料理であっても「御節」と呼ばれるようになってきています（当院では、三が日にビーフステーキを提供させていただきました）が、もともと「御節」は日本独自の行事食であり、重箱に詰められた料理や食材には様々な願いや意味が込められています。今回は、日本の伝統的な御節料理とその意味について紹介したいと思います。

- 黒豆**：健康と長寿を願う縁起物
- 数の子**：五穀豊穡と子孫繁栄を願う縁起物
- 田作り**：五穀豊穡を願う縁起物
- 伊達巻**：巻物に似ていることから、学問・文化・教養を持つことを願う縁起物
- 鰯の照焼き**：鰯が出世魚であることから出世を願う縁起物
- 酢蓮**：多数の穴がある蓮根は将来の見通しが効くという縁起物
- くわい**：最初に芽が一本出ることから、「めでたい」にかけた縁起物



今回紹介させていただいた料理で今年のお正月に食べたものはありましたでしょうか？

御節料理に限らず、伝統的な料理には意味や願いがあるもの、洒落が効いているものが多数あります。その意味や歴史を知ってから食べる御節料理や伝統料理は、知る前とは一味違うものかもしれません。

（栄養管理室 管理栄養士 吉川亮平）



# 手洗いは感染防止の基本です

～ あなたの手洗い大丈夫？ 手洗いチェッカーで確認 ～

風邪・インフルエンザの流行する季節です。流行を防ぐためには、原因となるウイルスを体内に侵入させないことや周囲にうつさないようにすることが重要です。インフルエンザの感染を広げないために、一人一人が「かからない」「うつさない」対策を実践しましょう。

インフルエンザの感染を防ぐポイントは「手洗い」「マスク着用」「咳(せき)エチケット」とわれています。この言葉の理解するためにはインフルエンザがどのようにして感染するのかを知っておきましょう。インフルエンザウイルスの感染経路は、飛沫感染と接触感染の2つがあります。

## 飛沫感染

感染者のくしゃみ、咳、つばなどの飛沫といっしょにウイルスが放出し、別の人がそのウイルスを吸い込む。⇒**マスク着用**

## 接触感染

感染者が咳・くしゃみを手で押さえて、その手で周りの物を触る。あるいは感染者の咳・くしゃみの飛沫が周囲のものに残っている。それを別の人がその物を触り、手につき、その手で口、顔、髪の毛を触り感染が起こる。⇒**手洗い**

### 正しい手の洗い方

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのほすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗います。



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

外出から戻ったらしっかりと手洗いをしましょう。左の図のように手洗いでは①指先②指の間③手首などに汚れが残りがちです。しっかりと洗いましょう。

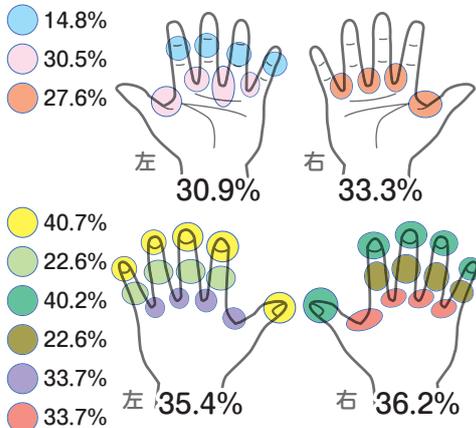
インフルエンザだけでなく、院内には様々な病原菌が存在します。さらに患者様は抵抗力が弱く、容易に病原菌に感染しやすい状況にあります。

感染防止のために、院内感染委員会が設置され、色々な活動していますが、その一環として、手洗いの徹底を推進しています。

年2回全職員が、手洗いの結果を手洗いチェッカーで評価し正しい手洗いの励行に役立てています。



### 洗い残しの割合



北陸病院感染防止対策小委員会



H26年度は前期243名の職員が実施いたしました。結果は左の表のとおりでした。

まだまだ改善が必要です。正しい手洗いが習慣になるまで続けていかなければと思っています。

産業医 石崎恵子



## 外来担当医表

項目	月	火	水	木	金
精神科（初診）	市川・坂本	坂本・市川	石崎・坂本	白石・池田	細川・白石
精神科（再診）	石崎・松原	白石・池田	村田・松原	市川・石崎	池田・白石
神経内科	吉田	小竹	吉田・尾崎	吉田	小竹
内科	戸部	渡辺	渡辺	戸部	戸部
睡眠外来（初診）			細川・古田	細川・戸部	
睡眠外来（再診）		細川	戸部		
専門外来	もの忘れ（吉田・坂本・市川・池田） クロザピン治療外来（白石） パーキンソン病外来（吉田・小竹） 遺伝カウンセリング外来（小竹） 睡眠外来：睡眠障害（細川・古田）		認知症セカンドオピニオン（吉田） 認知行動療法外来（白石） 眼瞼けいれん治療外来（小竹） 睡眠時無呼吸（戸部）		

●診察は完全予約制となっております。地域医療連携室にご相談ください。  
●受付・診療時間・・・8:30～11:30  
【地域医療連携室 直通電話】 **0763-62-1950**

## 劇団 やまだん野出張公演

去る9月13日、南和歌山医療センターにおける第14回地域医療連携カンファレンスに招待され、接し方・悪い接し方の公演を行いました。

当日は、方言が通じるのか不安もありましたが、113名もの方が、笑いながらも真剣にメモをとり、ご覧くださいました。

今後も、認知症の方々ができる限り住み慣れた環境で暮らし続けることができるような地域づくりを目指し、いろいろな場所で公演できたらと考えております。



今年も劇団「やまだん野」頑張ります!!

### 【交通アクセス】

#### ◆交通機関

JR城端線、城端駅より、タクシーで約5分。

#### ◆高速道路

東海北陸自動車道、福光ICより約5分。

#### ◆南砺市コミュニティーバス

JR城端駅・福光駅より出ています。



## 独立行政法人 国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hokuriku/>

【編集・発行】北陸病院

【広報担当】石崎・宮嶋・前田